

# マルコの家 通信

No.1 2010.11.1

自立援助ホーム マルコの家  
〒328-0042  
栃木県栃木市沼和田町14-28  
☎・FAX: 0282-21-7740  
Email: info-marc@easter-village.or.jp

## 【はじめに】

人はつくづく環境の中で生かされるものだと思います。

特に、社会環境が人を育ててくれると思います。

子どもが学校を出て社会に出る時、大きな戸惑いがあると思いますが、未知の世界への不安と期待で期待を希望に変えられるとしたもの。不安等はいつの間にか消滅します。

今の世の中で希望に繋がるチャンスはいくらでもあります。

このチャンスを手に入れるには、限られた人間関係の中ではなかなか見つける事が難しいでしょう。自分の心に負荷をかけて、多くの人々に出会う事が重要です。

マルコの家にいる子ども達が家に籠らず、アルバイトや友人関係以外の人々とも知り合う事が重要です。過去の自分の生き立ちと向き合い、心を整理してみると意外な発見が見えるのではないのでしょうか。心に負の遺産を持たず、明るい人生だけを求めて欲しいと思っています。

マルコの家 施設長 小田文裕

## 誕生会



開所して4カ月。

8月、9月と2人が誕生日を迎えました。

誕生日は「あなたがこの世に生まれてきた事を祝い、こうして元気でいてくれる事を祝う日」

何よりも大切な記念日だと思っています。

嬉しい台所事情ですが、バースデーカードと本人希望のケーキを用意し、皆でお祝いするようにしています。



## 【あしあと】

9月11日 理事会（マルコの家にて会食）

10月 3日 障害者支援施設  
マ・メゾン光星収穫祭 参加

10月 9日 とちぎ市市民活動支援センター  
「くらら」にて講演会 小田施設長

10月24日 児童虐待防止  
オレンジリボン たすきリレー 参加

## 【11月の予定】

1日（月） 栃木市長訪問

2日（火） 誕生会

3日（水・祭） イースター祭 お好み焼き屋出店  
（イースターヴィレッジ：足利市）

6日（土） 誕生会

13日（土） マルコの家支援チャリティコンサート  
（桐生教会）

## 【入居者の様子】

<N美さん> 目下 求職活動中。 やってみたい仕事は沢山あるんだけどなあ・・・

<Y子さん> 求職活動中。接客業がやりたい！

<Kさん> 自分の将来について模索中。

<M君> 緊急雇用対策により市役所に採用決定！！  
「蔵の町 栃木」の美化に力を注ぎます。

<A君> 現在、大工見習い中。  
出勤は朝5時50分 帰宅は20時のハードワーク。  
でも休まず頑張ってます。

## 【在籍数】

年齢	男子	女子	計
16歳		1	1
17歳	1	2	3
18歳			
19歳	1		1
合計	2	3	5

H22.11.1現在

【ありがとうございました】 寄附金・物品寄贈して下さった方々

H22.7月～10月

柴田 浩 様	中村絹江(くら) 様
新里登喜子 様	前橋教会 様
横塚善次郎 様	川越教会 様
沼和田町 小林 様	東松山教会 様
大平 誠 様	小山市子育て支援課
松本 文男 様	課長 田熊 様
河津 英子 様	とちぎ市 市民活動
金子友味子 様	推進センターくら 様
春日 滋子 様	球殿プラザ 栃木店 様
木村 浩子 様	順不同
島田 淳子 様	

## 【ボランティア募集】

マルコの家では各ボランティアさんを募集しています。  
「宿直」・・・22時～6時まで  
「調理」・・・夕飯を作って下さる方  
「学習・話し相手」・・・子ども達に勉強を教えてくれる方  
「職親さん」・・・就職のお世話、紹介して下さる方  
”時々”でも結構です。  
関心をもたれた方お電話、メールでご連絡下さい。  
(★連絡先は表右上に記載されています★)

この他にも沢山の方にご協力頂きました。  
改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

## 【編集後記】

開所から早いもので4カ月が経ち、遅ればせながら「マルコの家通信 第1号」を発行する事ができました。立ち上がる壁にぶつかり、スタッフも子ども達同様に幾度となく、傷ついたり、泣いたり、怒ったり・・・。

「義務教育が終わったから」「今の制度ではそうなっているから」そんな大人の都合で「自立」を強いられた10代の子ども達が多くいる事は、まだまだ知られていません。

制服を着て学校に通い、放課後は部活動に打ち込んだり、マックでおしゃべりに夢中になったりするごくごく普通の学生生活から離れ、「生活費」を得る為にアルバイトを掛け持ちする子ども達。

必然的に生まれてくる「なぜ私ばかり・・・」という怒りや落胆を、私達に力一杯ぶつけてきます。

そのエネルギーは時に凄まじく、こちらの心が折れそうになる事もしばしば。

今の私にできる事は温かいご飯を用意し、彼らの話を聞いて少し背中を押してあげる事位。

価値観が多様化している現在では何が「幸せ」かを定義するのは難しいけれど、将来我家に戻ってほっと一息ついた時「幸せだなあ」としみじみ感じる事ができる未来を、掴んで欲しいと思っています。

その為に私にできる事はなにか、自分に問いかける毎日です。

いろいろあるけど、さあて、今日も笑って行きましょうか！

スタッフ 野原

